



Digital Garage

2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社デジタルガレージ

上場取引所 東

コード番号 4819 URL https://www.garage.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員
コーポレートストラテジー本部管掌 (氏名) 曾田 誠 TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,843	56.1	4,874	-	3,310	-	3,343	-	3,236	122.6
2021年3月期第1四半期	6,944	△15.5	405	△81.7	154	△90.5	224	△86.2	1,454	△68.3

	基本的1株 当たり四半期利益	希薄化後1株 当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	72.54	65.94
2021年3月期第1四半期	4.86	4.81

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	171,513	64,884	63,969	37.3
2021年3月期	178,301	63,082	62,134	34.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	32.00	32.00
2022年3月期	-	-	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2022年3月期における配当予想は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。なお、詳細につきましては、(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	47,454,400株	2021年3月期	47,441,900株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,363,760株	2021年3月期	1,363,660株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	46,086,020株	2021年3月期1Q	46,018,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く市場環境は、当社グループが事業展開する電子決済市場、インターネット広告市場ともに今後も継続的な成長が見込まれております。2020年の消費者向け電子商取引（BtoC-EC）の市場規模が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により同分野で最も市場規模の大きい旅行サービスが前年比約6割減と大きく影響を受けたことで、前年比0.4%減の19兆2,779億円となりました（注1）。一方で、2018年4月に内閣府主導の下、国内のキャッシュレス決済比率を2017年の21.3%（注2）から2025年に40%とする目標が設定され（注3）、キャッシュレス化が推進されている背景から、今後も電子決済市場の成長が見込まれます。また、2020年のインターネット広告市場においては、社会のデジタル化加速が追い風となり新型コロナウイルス感染症拡大の影響から先行して回復し、インターネット広告費は前年比5.9%増となる2兆2,290億円となり（注4）、デジタル広告中心に引き続き市場成長が見込まれております。

出所 （注1）経済産業省「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書（2021年7月）」

（注2）一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ 2020（2021年5月）」

（注3）経済産業省「キャッシュレス・ビジョン（2018年4月）」

（注4）(株)電通「2020年日本の広告費」

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比	
			増減額	
収 益	6,944	10,843	3,899	56.1%
税 引 前 四 半 期 利 益	405	4,874	4,469	12.0倍
四 半 期 利 益	154	3,310	3,156	21.5倍
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益	224	3,343	3,119	14.9倍
四 半 期 包 括 利 益	1,454	3,236	1,782	122.6%

当第1四半期連結累計期間の収益は10,843百万円（前年同期比56.1%増）、税引前四半期利益は4,874百万円（前年同期比12.0倍）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,343百万円（前年同期比14.9倍）、四半期包括利益は3,236百万円（前年同期比122.6%増）となりました。当第1四半期連結累計期間は、インキュベーションテクノロジー事業において、営業投資有価証券の公正価値が大幅に伸長し、リカーリング事業であるフィナンシャルテクノロジー事業及びマーケティングテクノロジー事業においては、主力事業が好調に推移したこと等により増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比	
				増減額	
フィナンシャル テクノロジー事業	収 益	2,340	2,516	176	7.5%
	税引前四半期利益	1,018	1,108	89	8.8%
マーケティング テクノロジー事業	収 益	3,335	3,217	△118	△3.5%
	税引前四半期利益	178	223	45	25.3%
インキュベーション テクノロジー事業	収 益	389	4,015	3,626	932.2%
	税引前四半期利益	72	3,636	3,564	50.8倍
ロングタームインキュ ベーション事業	収 益	801	1,034	233	29.0%
	税引前四半期利益	120	599	479	400.2%
調 整 額	収 益	79	61	△18	△23.3%
	税引前四半期利益	△983	△692	291	—
合 計	収 益	6,944	10,843	3,899	56.1%
	税引前四半期利益	405	4,874	4,469	12.0倍

〔フィナンシャルテクノロジー事業〕

フィナンシャルテクノロジー事業では、Eコマース（EC）をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューション及び決済周辺サービス等の提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、決済事業を展開する㈱DGフィナンシャルテクノロジー及び㈱イーコンテクストが、多様な決済ソリューションを提供し高成長を継続致しました。新型コロナウイルス感染症拡大による特需の一部反動あるも、EC市場拡大による取扱い増加に加え、モバイルオーダー事前オンライン決済等の新規決済手段による取扱いが好調に増加、更に国内旅行関連決済の取扱いも回復し、決済取扱高は前年同期比約26%増の約8,685億円、決済取扱件数は同約16%増の約1.7億件まで伸長致しました。

これらの結果、収益は2,516百万円（前年同期比7.5%増）、税引前四半期利益は1,108百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

〔マーケティングテクノロジー事業〕

マーケティングテクノロジー事業では、インターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングや様々なデータを活用したデータマーケティングビジネス等を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、インターネット広告を手掛ける当社マーケティングテクノロジーカンパニーにおいて、主力のデジタルアド事業が堅調に推移致しました。特に、通信キャリア決済・クレジットカード等の金融向けのフィンテック関連プロモーションにおいては、広告取扱高が約50%増の約47億円と好調に推移しました。また、前連結会計年度より人員の適正化や拠点集約等を進めた結果、収益性が向上致しました。

これらの結果、収益は3,217百万円（前年同期比3.5%減）、税引前四半期利益は223百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

〔インキュベーションテクノロジー事業〕

インキュベーションテクノロジー事業では、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、投資先のIPO、ファイナンスによる公正価値の増加及び海外上場銘柄を中心に売却したこと等により、収益は4,015百万円（前年同期比932.2%増）、税引前四半期利益は3,636百万円（前年同期比50.8倍）となりました。

また、営業投資有価証券の残高は、50,819百万円（前連結会計年度末比7.7%増）となりました。

〔ロングタームインキュベーション事業〕

ロングタームインキュベーション事業では、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を前第1四半期連結累計期間において大きく受けた持分法適用会社である㈱カカオムの業績が回復に向かったこと等により、収益は1,034百万円（前年同期比29.0%増）、税引前四半期利益は599百万円（前年同期比400.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率 (%)
流動資産	113,548	107,766	△5,783	△5.1
非流動資産	64,753	63,748	△1,005	△1.6
資産合計	178,301	171,513	△6,788	△3.8
流動負債	56,865	52,819	△4,046	△7.1
非流動負債	58,355	53,811	△4,545	△7.8
負債合計	115,220	106,630	△8,590	△7.5
資本合計	63,082	64,884	1,802	2.9

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて6,788百万円減少し、171,513百万円となりました。この主な要因は、営業投資有価証券が3,650百万円増加した一方、決済事業等に係る営業債権及びその他の債権が7,331百万円、現金及び現金同等物が2,065百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて8,590百万円減少し、106,630百万円となりました。この主な要因は、決済事業等に係る営業債務及びその他の債務が6,216百万円、その他の流動負債が1,246百万円減少したことによるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて1,802百万円増加し、64,884百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が配当金により1,475百万円減少した一方、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により3,343百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

インキュベーションテクノロジー事業にて展開する国内外の未公開企業等への投資・育成分野において、当社グループが保有する有価証券の期末時点における公正価値を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。

また、新型コロナウイルス感染症のリスクについては、当社業績への影響は限定的でしたが、今後新型コロナウイルス感染症の経済社会に対する影響が拡大し、長期化した場合には、当社業績に影響を与える可能性があります。

なお、当社グループは、2021年3月期を初年度とし「Designing our New Normal Context」をスローガンに掲げた中期経営計画（2021年3月期から2025年3月期までの5ヵ年）を策定しております。フィナンシャルテクノロジー事業、マーケティングテクノロジー事業につきましては、中期経営計画にて掲げております年平均成長率20%程度の利益成長を目指すほか、ロングタームインキュベーション事業におきましては、持分法適用会社である㈱カカコムに利益貢献に加え、国内外で戦略的事業を創出・育成することで年平均成長率15%程度の利益成長を目指して参ります。また、インキュベーションテクノロジー事業におきましては、ROI2.5倍をハードルレートとして設け、この基準を達成する水準において投資・回収を実行して参ります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	37,989	35,924
営業債権及びその他の債権	26,574	19,243
棚卸資産	264	292
営業投資有価証券	47,170	50,819
その他の金融資産	912	777
未収法人所得税等	21	77
その他の流動資産	618	633
流動資産合計	113,548	107,766
非流動資産		
有形固定資産	19,478	19,156
のれん	7,689	7,689
無形資産	4,000	4,060
投資不動産	2,924	2,906
持分法で会計処理されている投資	22,446	22,146
その他の金融資産	7,878	7,484
繰延税金資産	60	47
その他の非流動資産	278	259
非流動資産合計	64,753	63,748
資産合計	178,301	171,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	9,768	13,778
営業債務及びその他の債務	39,911	33,695
その他の金融負債	1,712	1,731
未払法人所得税等	1,328	716
その他の流動負債	4,146	2,900
流動負債合計	56,865	52,819
非流動負債		
社債及び借入金	35,850	31,185
その他の金融負債	12,168	11,906
退職給付に係る負債	452	456
引当金	485	483
繰延税金負債	8,515	8,903
その他の非流動負債	885	878
非流動負債合計	58,355	53,811
負債合計	115,220	106,630
資本		
資本金	7,637	7,654
資本剰余金	4,566	4,589
自己株式	△4,915	△4,915
その他の資本の構成要素	2,062	1,851
利益剰余金	52,785	54,791
親会社の所有者に帰属する持分合計	62,134	63,969
非支配持分	947	914
資本合計	63,082	64,884
負債及び資本合計	178,301	171,513

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	6,148	6,004
営業投資有価証券に関する収益	302	3,893
その他の収益	193	326
金融収益	1	18
持分法による投資利益	300	600
収益計	6,944	10,843
費用		
売上原価	2,764	2,531
販売費及び一般管理費	3,453	3,304
その他の費用	69	72
金融費用	252	62
費用計	6,539	5,969
税引前四半期利益	405	4,874
法人所得税費用	251	1,564
四半期利益	154	3,310
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	224	3,343
非支配持分	△70	△33
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	4.86	72.54
希薄化後1株当たり四半期利益	4.81	65.94

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	154	3,310
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	1,363	△66
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	6	△7
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△69	△1
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	0	△0
税引後その他の包括利益	1,300	△74
四半期包括利益	1,454	3,236
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,523	3,269
非支配持分	△69	△33

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2020年4月1日 残高	7,591	4,409	△5,012	△798	1,125	△2	324
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				1,369	△69		1,299
四半期包括利益	—	—	—	1,369	△69	—	1,299
新株の発行	5	5					—
支配継続子会社に対する持分変動		△3					—
配当金							—
株式報酬取引		10					—
自己株式の取得			△0				—
その他		△1					—
所有者との取引額等合計	5	12	△0	—	—	—	—
2020年6月30日 残高	7,596	4,420	△5,012	570	1,056	△2	1,624

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2020年4月1日 残高	44,721	52,033	762	52,795
四半期利益(△損失)	224	224	△70	154
その他の包括利益		1,299	1	1,300
四半期包括利益	224	1,523	△69	1,454
新株の発行		10		10
支配継続子会社に対する持分変動		△3	365	362
配当金	△1,749	△1,749		△1,749
株式報酬取引		10		10
自己株式の取得		△0		△0
その他		△1		△1
所有者との取引額等合計	△1,749	△1,732	365	△1,367
2020年6月30日 残高	43,196	51,824	1,058	52,882

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2021年4月1日 残高	7,637	4,566	△4,915	853	1,217	△7	2,062
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△73	△1		△74
四半期包括利益	—	—	—	△73	△1	—	△74
新株の発行	17	17					—
配当金							—
株式報酬取引		13					—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△137			△137
その他		△7					—
所有者との取引額等合計	17	23	—	△137	—	—	△137
2021年6月30日 残高	7,654	4,589	△4,915	643	1,216	△7	1,851

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2021年4月1日 残高	52,785	62,134	947	63,082
四半期利益(△損失)	3,343	3,343	△33	3,310
その他の包括利益		△74	△0	△74
四半期包括利益	3,343	3,269	△33	3,236
新株の発行		34		34
配当金	△1,475	△1,475		△1,475
株式報酬取引		13		13
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	137	—		—
その他		△7		△7
所有者との取引額等合計	△1,338	△1,434	—	△1,434
2021年6月30日 残高	54,791	63,969	914	64,884

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	405	4,874
減価償却費及び償却費	874	885
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息及び社債利息	62	59
持分法による投資損益 (△は益)	△300	△600
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	7,367	7,129
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	175	△3,650
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5	△28
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△5,354	△6,282
未払消費税等の増減額 (△は減少)	884	△456
その他	439	△579
小計	4,556	1,352
利息及び配当金の受取額	719	727
利息の支払額	△21	△17
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△458	△1,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,796	797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,182	△362
無形資産の取得による支出	△487	△318
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	266
持分法で会計処理されている投資の売却による 収入	79	—
その他	△63	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,653	△321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,813	△390
長期借入れによる収入	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△211	△304
リース負債の返済による支出	△472	△438
非支配持分からの払込による収入	365	—
配当金の支払額	△1,715	△1,453
その他	3	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,284	△2,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,408	△2,065
現金及び現金同等物の期首残高	32,702	37,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,111	35,924

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントの利益は、税引前四半期利益をベースとしており、セグメント間の収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	2,302	3,331	—	516	6,148	—	6,148
営業投資有価証券に関する収益	—	—	302	—	302	—	302
その他の収益	1	4	108	1	114	79	193
金融収益	0	1	0	0	1	0	1
持分法による投資利益	37	△1	△21	284	300	—	300
外部収益計	2,340	3,335	389	801	6,865	79	6,944
セグメント間収益	13	6	15	0	34	△34	—
収益計	2,353	3,341	404	801	6,899	45	6,944
セグメント利益	1,018	178	72	120	1,388	△983	405

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△983百万円には、セグメント間取引消去△2,001百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,300百万円及び全社費用△1,282百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	連結
	フィナンシャルテクノロジー事業	マーケティングテクノロジー事業	インキュベーションテクノロジー事業	ロングタームインキュベーション事業			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
収益							
外部収益							
リカーリング型事業から生じる収益	2,470	3,213	—	322	6,004	—	6,004
営業投資有価証券に関する収益	—	—	3,893	—	3,893	—	3,893
その他の収益	0	1	105	154	260	67	326
金融収益	1	5	19	△1	24	△6	18
持分法による投資利益	45	△1	△2	558	600	—	600
外部収益計	2,516	3,217	4,015	1,034	10,782	61	10,843
セグメント間収益	16	13	7	0	37	△37	—
収益計	2,532	3,230	4,023	1,034	10,819	24	10,843
セグメント利益	1,108	223	3,636	599	5,566	△692	4,874

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去△2,521百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,798百万円及び全社費用△968百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益と調整を行っております。